

平成17年度 北海道観光入込客数調査の概要

平成18年7月
北海道経済部
観光のくにつくり推進局

本調査は、「全国観光統計基準」により道が定めた「北海道観光入込客数調査要領」に基づき、市町村が行った調査結果をもとに集計したものです。

記

1 観光入込客数（実人数） 4,813万人（16年度比 99.5%）

平成17年度の観光入込客の総数（実人数）は、4,813万人となり、前年度の4,839万人に対し、99.5%となりました。

道内外から注目を集めた旭山動物園人気や世界自然遺産に登録された「知床」効果に加え、東アジアを中心とした海外からの来道者が昨年引き続き大幅に増加するなど、増加要因があったものの、愛知万博の開催や全国的な寒波や大雪といった天候要因、道内においては人気観光地へ観光客が集中したことや春先の天候不順などが影響し、観光入込客数は前年度をわずかに下回りました。

< 観光入込客数（実人数） >

区 分	観光入込客数 （実人数）	16年度比	
			増 減 数
道 外 客	635万人	100.5%	3万人
道 内 客	4,178万人	99.3%	29万人
合 計	4,813万人	99.5%	26万人

【参 考】観光入込客数（延べ人数）： 1億3,903万人（16年度比 100.5%）
宿泊客延数 3,397万人（同 99.4%）

道外・道内客別延べ人数

区 分	観光入込客数 （延べ人数）	16年度比	
			増 減 数
道 外 客	4,576万人	103.6%	158万人
道 内 客	9,327万人	99.0%	92万人
合 計	13,903万人	100.5%	66万人

圏域別延べ人数

圏 域 別	観光入込客数 （延べ人数）	圏 域 比	16年度比	
				増 減 数
道 央	7,601万人	54.7%	101.7%	125万人
道 北	2,253万人	16.2%	102.4%	53万人
道 南	1,185万人	8.5%	89.1%	145万人
オホーツク	1,059万人	7.6%	99.8%	2万人
釧路・根室	945万人	6.8%	99.5%	5万人
十 勝	860万人	6.2%	105.0%	40万人
合 計	13,903万人	100.0%	100.5%	66万人

千人以下四捨五入のため数字が合致しない場合があります。

2 訪日外国人来道者数(実人数) 51万3,650人(16年度比120.3%)

平成17年度の訪日外国人来道者数は、実人数で51万3,650人となり、前年度の42万7,050人に対し120.3%と大幅に増加しました。

国のビジット・ジャパン・キャンペーン事業の展開によるPR効果に加え、道内各地でも行政、民間事業者、関係団体などが連携して積極的に海外プロモーション活動を推進したことや東アジアと道内空港間の定期便やチャーター便が増便されたことなどにより、昨年度に引き続き大幅な増加となりました。

本道観光の主要市場であるアジア地域からの来道者は、46万6,450人で前年度の123.2%と大幅に増加しました。

台湾、韓国、中国からの来道者は、上記要因に加え、訪日査証発給等の緩和措置の効果により前年度に比べ増加したほか、依然として、北海道へのスキー人気が高いオーストラリアからの来道者についても引き続き高い伸びとなりました。

国・地域別の構成比でみると、台湾が最も多く53.9%を占め、次いで中国(香港)が16.8%、韓国が13.6%の順となっています。

- 【台湾】 高い北海道旅行人気に加え、愛知万博に合わせたビザ免除措置が恒久化されたほか、定期便(新千歳～台北線：週5便 9便)やチャーター便の増便効果もあって、来道者数は昨年引き続き、大幅に増加しました。
- 【中国(香港)】 前年のビザ免除措置による大幅増の反動に加え、旅行代金が日本より安いアジア近隣諸国へ需要が流れたことなどが影響し、ほぼ前年並みに止まりました。
- 【中国】 反日デモの発生による影響が危惧されましたが、高度経済成長による外国旅行の増加を背景に、北海道旅行人気の高まりや訪日中国人団体観光旅行のビザ発給対象地域が中国全土に拡大されたことにより、引き続き増加しました。
- 【韓国】 春季は竹島領有権問題などが影響し、減少傾向にありましたが、愛知万博に合わせたビザ免除措置が恒久化されたほか、自然や温泉が豊富な北海道への観光需要が高まり、増加しました。
- 【オーストラリア】 北海道へのスキー人気により、旅行先がこれまでの倶知安町、ニセコ町に加え、富良野市へも拡大し、昨年度に引き続き大幅に増加しました。

< 訪日外国人来道者数(実人数) >

国・地域別	来道者数(実人数)	16年度比		構成比
			増減数	
台湾	27万6,800人	132.7%	68,200人	53.9%
香港	8万6,500人	104.5%	3,750人	16.8%
韓国	7万0,050人	109.7%	6,200人	13.6%
中国	1万5,650人	129.9%	3,600人	3.0%
上記以外のアジア地域	1万7,450人	155.1%	6,200人	3.4%
アジア地域小計	46万6,450人	123.2%	87,950人	90.8%
アメリカ	8,750人	96.2%	350人	1.7%
ロシア	5,900人	88.1%	800人	1.1%
オーストラリア	1万8,900人	129.0%	4,250人	3.7%
その他(不明を含む)	1万3,650人	75.4%	4,450人	2.7%
合計	51万3,650人	120.3%	86,600人	100.0%

【参考】来道外国人宿泊者数(延べ人数)

163万1,178人 (前年度比121.4%、28万8,026人増)

実人数：1人の観光客が1回の旅行で、5市町村を訪問している場合でも、1人と数えます。
 延べ人数：市町村の実人数の単純合計で、1人の観光客が1回の旅行で、5市町村を訪問している場合は、5人と数えます。)